

高萩市女性活躍推進事業【高萩市】

地域の実情と課題

- ・高萩市の女性就業率におけるM字カーブは浅くなってきているものの30歳から34歳の女性就業率は、茨城県の値を下回っている状況である。
- ・第2次産業に従事する者が多い中、人口減少による働き手の不足が懸念され、事業所においては働く場における女性の能力活用が不可欠である。
- ・「高萩市女性活躍推進協議会」における官民連携により、講演会等を開催し女性活躍の推進を図ってきたが、未だ大幅な社会変革が生じたとは言えず、今後についてもさらなる拡充強化を図り、一人ひとりが働きやすい職場環境づくり等更なる女性活躍推進のため取り組む必要がある。

事業の特徴

- たかはぎキラリ女子発掘応援事業
市内事業所に就労している女性や女性起業家など、地域で活躍する女性をモデルとしたリーフレットを作成したとともに、リーフレット掲載モデルによるセミナーを開催し、女性活躍推進に係る意識啓発を図った。
- 自分らしく輝くプラン発見応援事業
市内全中学校(3校)で、男性の多い職場で活躍する女性、女性が多い職場で活躍する男性(市内事業所就労者)などを講師とした出前講座を開催し、性別による固定的役割分担の払拭や性別に囚われない職業選択についての講義を行った

事業の効果

- たかはぎキラリ女子発掘応援事業については、起業家や、市内事業所で働く女性など、様々な分野で活躍する女性モデルを掲載することができ、女性活躍の意識向上に資することができた。
- 自分らしく輝くプラン発見応援事業については、職業選択に取り組む時期に、異性が多い職場で実際に働いている人(市内事業所就労者)から直接話を聞くことができたことで、性別にとらわれない職業選択や女性活躍についての理解を深めることができた。

目的・目標

- 【目的】
高萩市女性活躍推進協議会との官民連携の下、すべての女性が希望に応じて十分に能力を発揮し活躍するための社会形成をねらいとする。
- 【目標】
 - (1)市内女性の就業率
【現状値】67.8%(H27時点)【目標値】82%(R7時点)
 - (2)リーフレット掲載モデル数
【目標値】5人 【結果】5人
 - (3)出前講座アンケートで女性活躍についてよく理解することができたと回答した割合
【目標値】80% 【結果】96%

連携団体

- ・「高萩市女性活躍推進協議会」
協議会の構成
高萩市、高萩市商工会、高萩市金融団、JA常陸農業協同組合、高萩市幼稚園長・学校長会、高萩公共職業安定所、市内企業
・ハーモニーたかはぎ、ハローワーク高萩

今後の課題

- 女性ロールモデルなどを活用した女性活躍推進の啓発に継続して取り組むとともに、女性の多様な働き方やチャレンジを可能にするための地域環境づくり(女性ネットワークの形成など)や家庭環境づくり(男性の家事育児への積極的な参画)を積極的に推進していく必要がある。

事業の概要

たかはぎキラリ女子発掘応援事業

リーフレットの作成



掲載モデル 5人
 ・女性起業家
 ・まちづくりイベント団体代表
 ・市内企業就業者

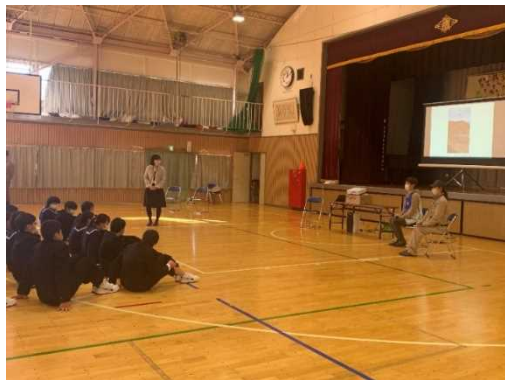
内容
 市内事業所に就労している女性や女性起業家など、地域で活躍する女性5人を掲載。併せて市やハローワーク、商工会などによる女性活躍に関する取組を紹介した。

セミナーの開催

日時 9/6、9/12、
 10/11、10/24、2/19

内容
 リーフレット掲載モデルによるセミナーを開催し、これから起業したい女性や、キャリアアップしたい女性などに対し、女性活躍推進に係る意識啓発を図ったとともに、家事シェアをテーマとしたセミナーを開催し、女性が活躍できる家庭環境づくりを支援した。

自分らしく輝くプラン発見応援事業



日時 松岡中学校 11/25(木) 11:30 ~ 12:20
 秋山中学校 12/8(水) 14:45 ~ 15:35
 高萩中学校 12/15(水) 14:10 ~ 14:55

内容
 茨城県ダイバーシティ推進センター職員による「性別における固定観念」や「女性活躍推進」についての講演及びゲスト講師による講話(その仕事に就いた理由、やりがい、男性中心/女性中心の職場で働いていて感じることなど)を行った。

- アンケートより抜粋
- ・男だから、女だからこうしないといけないという考えにとらわれず、自分のやりたいことに向かって努力することが大切なのだと分かった。
 - ・男性だから、女性だからということは気にせず、自分がなりたいと思った職業に就けばよいという話が印象に残った。
 - ・女性も男性もそれぞれ好きな職業に就いて良いのだと思った。